

現場説明書

- 1 工 事 名 平作ポンプ所外柵塗装工事
2 監 督 員 技術部 水道施設課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の上下水道局契約規程によりその例によることとされている契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
(2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
(3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、横須賀市上下水道事業管理者が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
(4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
(5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する ~~しない~~

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

6. ~~継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について~~

- ~~(1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%
第2年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%
第3年度(年度)	—%	支払限度額・請負代金額の—%

- ~~(2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。~~

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
 - ・施工体制台帳
 - ・施工体系図
 - ・再下請負通知書（再下請負の発注がある場合）
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 あり なし
- イ 貸 与 品 あり なし

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 あり なし

(8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 あり なし

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮される事となる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が 500 万円未満の工事、又は当初工期が 60 日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

(1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

(1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

(2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

平作ポンプ所外柵塗装工事特記仕様書

本工事の仕様は、当局水道工事共通仕様書（平成 28 年 10 月）に定められたもののほか、当特記仕様書によるものとする。なお、共通仕様書内の付編Ⅱ及び付編Ⅲについては、水道工事共通仕様書 付編書式（平成 29 年 12 月）を参照すること。

~~1 工事コストの表示について~~

- ~~(1) 工事請負額 1,000 万円以上の工事を対象とする。~~
- ~~(2) 工事請負額の表示は、工事現場に設置する「工事看板」に表示する。~~
- ~~(3) 表示金額は、万円単位など分かりやすい単位とする。~~

~~2 公共建設発生土処分について~~

~~(1) 受入場所~~

~~処分地等の名称：UCR（久里浜港）~~

~~場———所：横須賀市久里浜 8 丁目 2567 番 62~~

~~(2) 受入日時~~

~~受入日：月曜日から金曜日の平日~~

~~（土曜日・日曜日・祝祭日・旧盆・年末年始は、休業です。）~~

~~受入時間：8：00～17：00~~

~~※悪天候、突発的事故により受入れが停止または、制限される場合がある。~~

~~(3) 受入単価~~

~~名称：土砂受入処分料（指定処分）~~

~~規格 1：普通土砂（久里浜 UCR 処分場）~~

~~規格 2：処分費の対象~~

~~単価：地山 1 m³あたり 3,970 円~~

~~(4) 久里浜 UCR 受入地に指定された地質分析等試験~~

~~地質分析等試験は、試料採取から分析、結果証明までを同一の分析会社が行うこと。~~

~~3 土砂検定費等について~~

~~土砂検定費（1～28 項目一括実施）、土砂検定費（ヒ素＋銅）及び六価クロム溶出試験の単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象とならない。~~

4 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費 ~~あり~~ なし

5 数値基準、単価世代及び積算参考資料について

数値基準、単価世代及び積算参考資料については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「【重要】水道工事の数値基準等について」を参照すること。

6 共通単価について

共通単価については、上下水道局ホームページ→事業者の皆さまへ→請負工事に関する各種書類のダウンロード→上水道→水道工事積算単価関係内の「共通単価一覧表」（設計書摘要欄に記載のあるコード番号が A、B、K、L、N、P、R から始まるもの）を参照すること。

7 施工パッケージ型積算について

- (1) ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額で計上している。
- (2) 単価表摘要欄に「積算単価計上なし」と記載されている場合は積算単価を0円としている。
- (3) 表層工などの一位代価表の<条件区分>の[材料]、[〇〇規格]に記載している材料は、東京単価を算出するための代表材料を記載している。

※材料の積算単価は、一位代価表の規格欄・摘要欄に記載した材料である。

- (4) 施工パッケージ型積算方式による一位代価表の積算注意事項は、局ホームページの「施工パッケージ型積算方式による積算」を参照すること。

8 個人情報資料の借用について

工事に必要な個人情報に関する資料の借用にあたっては、以下の内容を明記した借用願（様式あり）を担当課長あてに提出すること。

- (1) 借用期間
- (2) 借用する個人情報資料の項目
- (3) 個人情報の管理に関する責任者、個人情報を取り扱う工事従事者
- (4) 貸出条件(取り扱いにあたる注意事項等)
- (5) その他監督員が必要とする事項

~~9 工事に関することについて~~

~~(1) 身分証明書の提示~~

~~請負者は顔写真、氏名、有効期限等を記載した身分証明書を発行し、給水管接続替調整工等の業務に従事する者に身分証明書を常時携帯させなければならない。~~

~~上記業務に従事する者は、水道使用者等の住居その他を訪問する場合はこれを提示すること。また、監督員から請求があったときもこれを提示すること。~~

~~(2) 給水管接続替調整工の作業内容~~

~~ア 給水台帳の確認~~

~~イ 現場調査(メータ位置の確認、メータ内給水管材質の確認、宅内路面状況の確認)~~

~~ウ 居住者及び土地所有者への工事説明及び掘削等の確認~~

~~エ 上記ア、イ、ウの実施(宅地内鉛給水管取替工事)内容の整理及び監督員への報告確認作業~~

~~オ 宅地内工事が別の請負者の場合は同業者への説明~~

~~カ 宅地内工事等に関する給水管接続替図及び土地使用承諾図の作成~~

~~(3) 試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削について~~

~~舗装取りこわし工等を除き試掘調査及び既設埋設物の近隣掘削については、安全施工の観点から人力施工とする。ただし、状況により機械施工を行う場合は監督員と事前協議すること。~~

~~10 舗装版切断時に発生する濁水の処理について~~

~~(1) 処理方法~~

~~舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。~~

~~(2) 条件~~

~~請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しな~~

~~ればならないものとする。~~

~~また、請負者が、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。~~

~~(3) 提出書類等~~

~~請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。~~

~~また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。~~

~~なお、請負者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。~~

11 ~~G X形ダクタイル鋳鉄管布設工事における有資格者条件について~~

~~G X管の接合は、「水道工事共通仕様書ダクタイル管の接合有資格者」の資格要件に加え、指導員又は指導員の指導を受けた者が行うこと。なお、指導員の氏名及び経歴等については、あらかじめ監督員の承諾を得ること。~~

~~(1) 指導員~~

~~指導員は、以下、ア～エのうち、いずれかを満たす者とする。~~

~~ア 局が平成25年11月に実施したG X形ダクタイル鋳鉄管施工講習会の受講者~~

~~イ 平成26年度以降の日本水道協会による配水管工技能講習会受講者~~

~~ウ 平成24年度以降の日本ダクタイル鉄管協会による継手接合研修会受講者~~

~~エ G X管製造会社の技術職員~~

~~(2) 指導員による指導~~

~~G X管の構造及び施工に精通した技術者による技術指導（社内講習会等）を、施工前及び施工中において、各1回以上実施し、配管技術者の技術の習得と管理に努めること。また技術指導の状況写真（過去の指導実績でも良い）を実施毎に各1枚撮影し、しゅん工時に提出すること。~~

~~技術指導する技術者名（身分証の写し等）、技術指導の内容（メニュー、実施時期等）については施工計画書に記載し、事前に監督員の承諾を得ること。~~

~~※参考（技術指導の例）~~

~~G X管の特性・構造、G X管接合・挿入量測定、切り管加工、チェックシートの記入等の技術指導をいう。~~

12 ~~別途発注される測量業務について~~

~~(1) 請負者は、本工事施工前に測量業務受託者と契約後速やかに打合せを行い、請負者が責任をもって測量の工程が記入された実施工程表を作成すること。~~

~~(2) 請負者は、工事に伴い境界標等の移設（撤去）が生じた場合は、引照杭を設け、測量業務受託者の確認を受けること。~~

~~(3) 測量業務受託者の行う境界標等の移設（撤去）及び復元に際しては、原則として本工事の現場代理人が立ち会って確認すること。~~

13 ~~建設副産物実態調査の作業手順（元請業者が行う）について~~

~~(1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページアドレス~~

~~<http://www.recycle.jacic.or.jp/> から建設副産物情報交換システムにログインする。~~

~~システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交~~

換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。

- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。(「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成)
- (3) CREDASの各種書類の印刷により、「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、施工計画書に添付する。
- (4) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
- (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。
- (6) CREDASの各種書類の印刷により「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を印刷し、監督員の確認を受ける。
- (7) 完成図書に「再生資源利用(促進)実施書—建設リサイクルガイドライン様式—」を添付する。

14 基準書等の適用について

本工事は、以下の基準書等を使用し、積算している。

- 1) 水道事業実務必携 平成 30 年度版
- 2) 土木工事標準積算基準書(土木工事編) 平成 30 年 7 月 1 日版
- 3) 積算参考資料(土木工事編) 平成 30 年 7 月 1 日版
- 4) 建設機械等損料表 平成 30 年度版
- 5) ~~下水道用設計標準歩掛表~~
 - ~~第 1 巻 管路~~ ~~平成 30 年度版~~
 - ~~第 2 巻 ポンプ場・処理場~~ ~~平成 30 年度版~~
 - ~~第 3 巻 設計委託~~ ~~平成 30 年度版~~

15 市場単価及び標準単価の端数処理について

市場単価及び標準単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとします。

なお、単価補正が行われた場合の単価についても円止め(小数点以下切り捨て)として計算し、数量×単価=金額を算出しています。

16 しゅん工検査時に必要な書類について

管路工事しゅん工図書等提出物一覧表(当局水道工事共通仕様書 平成 28 年 10 月の別冊)及び、請負金額 500 万円以上のものは、横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>土木工事関係書類一覧表(H30.4.1時点)と共に掲載した様式より「工事履行報告書」を作成すること。

17 工程表の提出

当該施設は、安全管理のため施錠されているので、鍵の借用については、鍵の借用届の提出等の事務処理が必要である。また、作業日および作業内容を明確にするために詳細な週間工程表及び月間工程を事前に作成し監督員に承諾を得ること。

18 耐候性塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量	規格
素地調整	3種	(g/m ²)	—
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	JIS K 5551
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	JIS K 5551
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗(中彩B)	140	JIS K 5659
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 上塗(中彩B)	120	JIS K 5659

参考図書 「鋼道路橋防食便覧」(公社) 日本道路協会発行(平成 26 年 3 月)

19 格子補修

格子の腐食孔補修については、破損箇所を除去して新しい鋼材を溶接にて取付を行うこと。

なお、事前に補修箇所（数）の調査を行い、図面等を作成して監督員と現場にて確認を行うこと。また新規鋼材を取り付けた箇所については、錆、油脂、埃等を除去して4時間以内に下塗り（1回目）を施すこと。

20 素地調整（3種ケレン）

素地調整におけるケレンについては、ワイヤーブラシ等のパワーツールにより、錆、油脂、汚れ、埃、スケール等の異物を除去し、活膜は残すこと。なお、発錆が著しい箇所は発錆部を十分に除去し素地面を露出させ、ケレン作業後、4時間以内に下塗り（1回目）を施すこと。

21 塗料の色

外柵塗装に用いる塗料の色は、監督員と協議により決定すること。

22 塗布量の検査

原料容器にて、塗布前の充缶及び塗布後の缶量確認を行うこと。

23 塗装履歴表示板

塗装履歴表示板には、使用材料（商品名・塗料メーカー）、請負者、しゅん工年月を記載し設置すること。なお、設置場所については、監督員と協議すること。

24 事故防止

- (1) 作業員が、転落及び転倒の危険がある場所では、事故防止処置を講ずること。
- (2) 請負者は、本工事を行うにあたり、作業員の負傷等がないよう各種事故防止について万全の安全対策等の処置を講ずること。

25 業務管理

作業日報は、日々作業終了後、監督員に提出すること。

FAX 可能（046-822-7894）

26 しゅん工図書の提出

作業終了後、下記の書類を提出すること。

- (1) 塗装前、塗装中、塗装後の写真
- (2) 外柵補修は、補修前、補修中、補修後の写真（箇所ごと）
- (3) 作業報告書1部（A4 ファイル綴り）

27 その他

上記の内容について疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

施工条件明示事項

工事名 平作ポンプ所外柵塗装工事

1. 当該工事の施工条件明示事項欄の、下記表□内黒塗り部分が作業に当って、特に制約を受けることになるので明示する。
又、明示されていない事項で請負者が、施工条件に該当すると思われる場合には、その都度監督員と協議すること。
2. 明示事項内容及び参考欄の内、参考と記載している箇所は見積り参考数値で、作業制約条件ではない。

明示項目	明 示 事 項	明示事項内容及び参考
■ 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 (準備工期の設定等)	1.作業時間は、午前9時から午後5時までとする。 また、土、日曜日及び祝祭日は原則休みとする。
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立	
	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響	
	<input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	
	<input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数	
<input type="checkbox"/> 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分	
	<input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場の民有地等の借地	
	<input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用	
	<input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容	
■ 周辺環境関係 (公害・排水等)	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策	1) 設計図書に示すとおり、排ガス対策型機械等を使用すること。
	<input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設	
	<input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策	
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止関係	
<input type="checkbox"/> 安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定	
	<input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限	
	<input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設	
	<input type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	
	<input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策	

明示項目	明示事項	明示事項内容及び参考
□ 工事関係	□ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限	
	□ 搬入路の使用後及び使用後の処置	
	□ 仮設道路の設置	
	□ 一般道路の占用	
□ 仮設備関係	□ 仮設物(仮土留、足場等)の他工事への転用若しくは兼用	
	□ 仮設備の構造及び施工方法の指定	
	□ 仮設備の設計条件の指定	
□ 建設副産物関係	□ 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件	
	□ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化	
	□ 建設副産物及び建設廃棄物の処理	
備 □ 仮設関係	□ 薬液注入工法の施工	
	□ 周辺環境への調査	
□ 工事支障等	□ 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	
	□ 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	
■ その他	□ 工事用資機材の保管及び仮置き	
	■ 工事現場発生品	1) 設計図書に基づき、適切な処分を行うこと。 なお、現場発生品については、処分先の受入書等の写しを監督員に提出すること。
	□ 支給材料及び貸与品	
	□ 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等	
	□ 架設工法の指定	
	□ 工事用水、電力等の指定	
	□ 新技術・新工法・特許工法の指定	
	□ 部分使用	
	□ 給水の必要	
	□ 電子納品対象工事特記仕様書	
□ その他		

平作ポンプ所外柵塗装工事 工 事 設 計 書

横 須 賀 市 上 下 水 道 局

総括表

平成 30 年度	工事番号						
工事名	平作ポンプ所外柵塗装工事						
ブロック番号	4400	工事場所	横須賀市平作5丁目27番				
予算科目							
設 計 説 明	<p>本工事は、上記地内における水道施設の外柵の経年劣化が激しいため、塗装の塗替えを行うものであり、工事概要は下記のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">外柵塗装工事</td> <td style="width: 40%;">ふっ素樹脂塗装</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">237㎡</td> </tr> </table>				外柵塗装工事	ふっ素樹脂塗装	237㎡
	外柵塗装工事	ふっ素樹脂塗装	237㎡				
<p>工期 自 平成 年 月 日</p> <p>至 平成 年 月 日</p>							
工事施行方法	請 負	工事日数	80日				

横 須 賀 市 上 下 水 道 局

設計基本情報

設計情報

設計書番号	013000217
設計種別	当初設計
工事番号	
工事名	平作ポンプ所外柵塗装工事
ブロック番号	4400

諸経費情報

単価世代	2018年 10月 1日
諸経費の工種	構造物工事（浄水場等）
施工地域補正	一般交通影響なし
前払金支出割合	40%
契約保証費	なし
処分費控除	なし
週休2日補正	なし

横須賀市上下水道局

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
外柵塗装工事				m2	237			/H
請負工事費								/H
直接工事費								/H
工事費								/H
	外柵塗装工	237m ²	ふっ素樹脂塗料	式	1			第 1 号内訳書参照 0001
工事費計								+3
直接工事費 計								++P
間接工事費								/H
共通仮設費								(しゅん工CAD図面含む) /H
	共通仮設費			式	1			%30Kr
共通仮設費 計								+3K

P-1

付属 1

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
純工事費								++J
	現場管理費			式	1			%30Jo
工事原価								++G
一般管理費等								/H
	一般管理費等			式	1			%07Gp
一般管理費等 計								+3
工事価格								++T
消費税等相当額				式	1			%S8
請負工事費 合計								++U

P-2

第 1 号 内訳書 外柵塗装工

237㎡ ふっ素樹脂塗料

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
素地調整工	防護柵類	m2	237			第 1 号一位代価表参照 DP040037-J02
付属構造物塗替工(下塗り)	各種 100m2/回当り10kg超20kg以下 2回塗替 防護柵類・落石防止柵類	m2	237			第 2 号一位代価表参照 DP040038-J04*
付属構造物塗替工(中塗り)	各種 100m2/回当り10kg超20kg以下 1回塗替 防護柵類・落石防止柵類	m2	237			第 3 号一位代価表参照 DP040038-J07*
付属構造物塗替工(上塗り)	各種 100m2/回当り10kg超20kg以下 1回塗替 防護柵類・落石防止柵類	m2	237			第 4 号一位代価表参照 DP040038-J06*
手すり先行型枠組足場工	油圧伸縮ゾブ型 25t吊	掛m2	232			第 5 号一位代価表参照 D1879-J03
脚立足場賃料	賃料日数35日	式	1			第 6 号一位代価表参照 Z0001
外柵格子切断溶接補強	0.03×0.03	箇所	2			局独自 Y0004
塗装履歴表示板	アルミ板 200×300 t=3mm 取付費込み	枚	1			局独自 Y0005
計						

第 1 号 一位代価表 素地調整工

防護柵類

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	100			/H
塗装工		%	R1 97.09			県単価・2018/04/01・労務1 CR0120
	1 m2 当り					

DP040037
<条件区分>
[構造物区分]=防護柵類

第 2 号 一位代価表 付属構造物塗替工(下塗り)

各種 100m2/回当り10kg超20kg以下 2回塗替
防護柵類・落石防止柵類

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R 91.84			/H
塗装工		%	R1 90.04			県単価・2018/04/01・労務1 CR0120
材料構成比		%	Z 8.16			/H
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	JIS K5551 C種 1号 下塗り	%	Z1 8.16			局独自 Y0001
	1 m2 当り					

DP040038
<条件区分>
[塗装種別]=各種, [構造物区分]=防護柵類・落石防止柵類, [ペイント使用量(kg/100m2/回)]=10kg超20kg以下, [塗替回数]=2回

第 3 号 一位代価表 付属構造物塗替工(中塗り)

各種 100m²/回当り10kg超20kg以下 1回塗替
防護柵類・落石防止柵類

※施工パッケージ単価
(IV-3-⑧-5) DP040038-J07*
1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	91.84			/H
塗装工		%	90.04			県単価・2018/04/01・労務1 CR0120
材料構成比		%	8.16			/H
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	JIS K5659 中彩B 中塗り	%	8.16			局独自 Y0002
	1 m ² 当り					

DP040038
<条件区分>
[塗装種別]=各種, [構造物区分]=防護柵類・落石防止柵類, [ペイント使用量(kg/100m²/回)]=10kg超20kg以下, [塗替回数]=1回

第 4 号 一位代価表 付属構造物塗替工(上塗り)

各種 100m²/回当り10kg超20kg以下 1回塗替
防護柵類・落石防止柵類

※施工パッケージ単価
(IV-3-⑧-5) DP040038-J06*
1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	91.84			/H
塗装工		%	90.04			県単価・2018/04/01・労務1 CR0120
材料構成比		%	8.16			/H
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	JIS K5659 中彩B 上塗り	%	8.16			局独自 Y0003
	1 m ² 当り					

DP040038
<条件区分>
[塗装種別]=各種, [構造物区分]=防護柵類・落石防止柵類, [ペイント使用量(kg/100m²/回)]=10kg超20kg以下, [塗替回数]=1回

第 5 号 一位代価表 手すり先行型枠組足場工

油圧伸縮ゾブ型 25t吊

100 掛m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				県単価・2018/04/01・労務1 CR0240
とび工		人				県単価・2018/04/01・労務1 CR0060
普通作業員		人				県単価・2018/04/01・労務1 CR0020
ラフレンクレーン賃料	油圧伸縮ゾブ型 25t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	日				県単価・2018/10/01・122 H18140R
諸雑費		式	1			#09
計	100 掛m2 当り					
	1 掛m2 当り					

D1879

[工法]=手すり先行型枠組足場, [安全ネット必要]=いいえ

第 6 号 一位代価表 脚立足場賃料

賃料日数35日

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
脚立足場	残置1カ月 踏み板付 基本料	脚	1			局独自 Y0006
脚立賃料		日	35			局独自 Y0007
諸雑費端数計上		式	1			#99
計	1 式 当り					

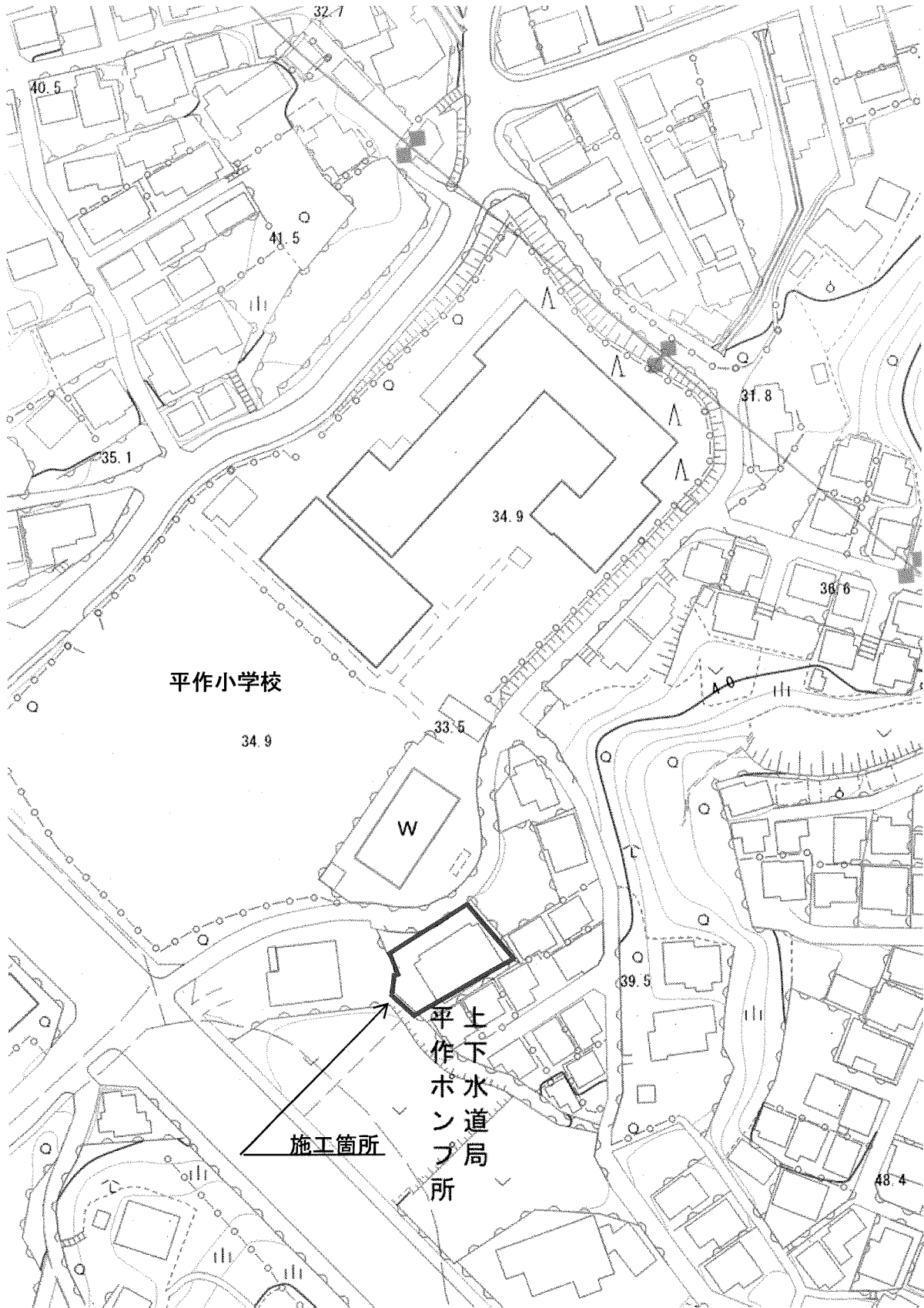
見積參考資料

単独基礎単価一覧表

2018年10月1日

コード	名称	規格	単位	単価	区	構成比	摘要
Y0001	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	JIS K5551 C種 1号 下塗用	kg	990	1		局独自
Y0002	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	JIS K5659 中彩B 中塗用	kg	1,330	1		局独自
Y0003	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	JIS K5659 中彩B 上塗用	kg	4,970	1		局独自
Y0004	外柵格子切断溶接補強	0.03×0.03	箇所	9,500	99		局独自
Y0005	塗装履歴表示板	7列板 200×300 t=3mm 取付費込み	枚	23,000	99		局独自
Y0006	脚立足場	残置1カ月 踏み板付 基本料	脚	133	99		局独自
Y0007	脚立賃料		日	8	99		局独自

位置図



工事名 : 平作ポンプ所外柵塗装工事

工事場所 : 横須賀市平作5丁目27番